

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程	中高一貫 課程
科目名	世界史B					(コース)	
教科書及び 使用教材等	教科書 山川出版社「詳説世界史B」 副教材 第一学習社「グローバルワイド最新世界史図表」 山川出版社「世界史B用語集」「詳説世界史学習ノート」					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①世界の歴史への興味・関心を高め、主体的に探究していく態度を身につけます。 ②世界の歴史の大きな枠組みと流れを、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解します。 ③世界史についての資料を適切に選択し、資料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につけます。 ④現代社会が直面する諸課題について、歴史的観点から考察し、主体的な追究を通して認識を深めます。						
学習計画	前期	○近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ○欧米における近代国民国家の発展 ○アジア諸地域の動揺					
	後期	○帝国主義とアジアの民族運動 ○二つの世界大戦 ○冷戦と第三世界の独立					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物（学習ノート）の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の（質問などに対する）発言回数						
教師からの メッセージ	近現代の世界史を学ぶことは現在の国際社会・世界経済・日本の置かれている状況などを理解する上でとても重要です。歴史の学習を「暗記教科」と決めつけず、過去からの大きな流れをとらえ、未来を考えるための学習だと考えてください。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程	普通 課程
科目名	世界史A					(コース)	選 抜 コース
教科書及び 使用教材等	教科書 東京書籍 「世界史A」 副教材 東京書籍 「世界史Aワークノート」					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	① 近現代史を中心とする世界の歴史について理解すること。 ② 諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、現代の諸課題を歴史的観点から考察すること。 ③ 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うこと。						
学習計画	前期	第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ 15世紀なかばから19世紀後半までの世界の歴史について学習します。ヨーロッパ勢力の進出によって、さまざまな世界が次第に一体化していき、一つの世界史が形成されていく様相をみていきます。					
	後期	第3部 現代の世界と日本 19世紀後半から今日にいたる世界の歴史について学習します。					

評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物（学習ノート）の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の（質問などに対する）発言回数
教師からの メッセージ	近現代の世界史を学ぶことは現在の国際社会・世界経済・日本の置かれている状況などを理解する上でとても重要です。歴史の学習を「暗記教科」と決めつけず、過去からの大きな流れをとらえ、未来を考えるための学習だと考えてください。

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	日本史B						
教科書及び 使用教材等	教科書：『詳説日本史B』 山川出版社 副教材：『新詳日本史図説』 浜島書店、『詳説日本史ノート』 山川出版社、『日本史用語集』 山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、センター試験をはじめ国公立二次・私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	原始・古代～平安中期（摂関政治・国風文化）まで					
	後期	平安後期（国司の地方支配）～江戸後期（三大改革）まで					
評価の観点 評価の方法	前期成績と後期成績については、それぞれ中間考査と期末考査の素点平均を評点とします。学年末考査では、前期成績、後期成績、学年末考査素点の平均を算出、これを7割掛けし、考査を70点で評価します。残り30点が平常点扱いです。平常点として、週毎の復習ノートの提出率とその内容を評価、更に旧国名テストの点数も評価の対象とします。						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル（18～19C）の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	日本史B						
教科書及び 使用教材等	教科書：『詳説日本史B』 山川出版社 副教材：『新詳日本史図説』 浜島書店、『詳説日本史ノート』 山川出版社、『日本史用語集』 山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、センター試験をはじめ国公立二次・私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						

学習計画	前期	原始・古代～平安中期（摂関政治・国風文化）まで
	後期	平安後期（国司の地方支配）～江戸後期（三大改革）まで
評価の観点 評価の方法	前期成績と後期成績については、それぞれ中間考査と期末考査の素点平均を評点とします。学年末考査では、前期成績、後期成績、学年末考査素点の平均を算出、これを7割掛けし、考査を70点で評価します。残り30点が平常点扱いです。平常点として、週毎の復習ノートの提出率とその内容を評価、更に旧国名テストの点数も評価の対象とします。	
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル（18～19C）の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！	

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 I コース
科目名	日本史B						
教科書及び 使用教材等	教科書	山川出版社 新日本史B				履修形態	選択
	副教材	資料集およびワーク				授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う						
学習計画	前期	「原始・古代の日本と東アジア」では、旧石器時代から平安時代までの社会や文化の特色について、東アジア世界の動向と関連づけをふまえて、原始社会の時期、国家の形成と律令体制の確立の時期、律令体制の変質の時期の3つの構成から理解する。					
	後期	「中世の日本と東アジア」では、武家政権の成立期から戦国時代までの社会や文化の特色について、国際的環境の変化と国内諸地域への視点をふまえて、武家政権の成立と中世社会の展開の2つの構成で考察する。					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業態度						
教師からの メッセージ	授業は私語や居眠りをせず、集中して真面目に取り組むこと。						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通 II コース
科目名	日本史B						
教科書及び 資料集	教科書	山川出版	「詳説日本史B」			履修形態	必修
		汲古書房	「新詳 日本史B」				

使用教材等	山川 隆平 著「新編 日本書紀」 ワーク 浜島書店 「ゼミナール日本史」	授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
学習計画	前期	「原始・古代の日本と東アジア」では、旧石器時代から平安時代までの社会や文化の特色について、東アジア世界の動向と関連づけをふまえて、原始社会の時期、国家の形成と律令体制の確立の時期、律令体制の変質の時期の3つの構成から理解する。	
	後期	「中世の日本と東アジア」では、武家政権の成立期から戦国時代までの社会や文化の特色について、国際的環境の変化と国内諸地域への視点をふまえて、武家政権の成立と中世社会の展開の2つの構成で考察する。	
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業態度		
教師からの メッセージ	先人の生き方・文化を学び、自国に対する自尊心やグローバルな視点を身につけよう。		

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	日本史B						
教科書及び 使用教材等	教科書：『詳説日本史B』山川出版社 副教材：『新詳日本史図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社、『山川一問一答日本史』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、センター試験をはじめ国公立二次・私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	江戸後期（三大改革）～現代（1980年代）まで					
	後期	センター試験演習（国公立二次対策、私大個別入試対策含む）					
評価の観点 評価の方法	前期成績と後期成績については、それぞれ中間考査と期末考査の素点平均を評点とします。学年末考査では、前期成績、後期成績、学年末考査素点の平均を算出、これを7割掛けし、考査を70点で評価します。残り30点が平常点扱いです。平常点として、週毎の復習ノートの提出率とその内容を評価、更に歴代内閣総理大臣テストの点数も評価の対象とします。						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル（18～19C）の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	日本史B						
教科書及び 使用教材等	教科書：『詳説日本史B』山川出版社 副教材：『新詳日本史図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社、『山川一問一答日本史』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、センター試験をはじめ国公立二次・私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	江戸後期（三大改革）～現代（1980年代）まで					
	後期	センター試験演習（国公立二次対策、私大個別入試対策含む）					
評価の観点 評価の方法	前期成績と後期成績については、それぞれ中間考査と期末考査の素点平均を評点とします。学年末考査では、前期成績、後期成績、学年末考査素点の平均を算出、これを7割掛けし、考査を70点で評価します。残り30点が平常点扱いです。平常点として、週毎の復習ノートの提出率とその内容を評価、更に歴代内閣総理大臣テストの点数も評価の対象とします。						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル（18～19C）の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	日本史B						1 コース
教科書及び 使用教材等	教科書 山川出版 「詳説日本史B」 資料集 浜島書店 「新詳 日本史」 ワーク 浜島書店 「ゼミナール日本史」					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	「近世の日本と世界」では、織豊政権から江戸時代における社会や文化の特色について、封建的支配体制が作り上げられる幕藩体制の確立、町人文化が生み出された幕藩体制の展開、列強の接近に伴う幕藩体制の動揺の3つの構成から世界史的な流れと関連させて考察する。					
	後期	「近代日本の形成と世界」では、ペリー来航以降の近代の社会や文化の特色について、開国・明治維新・自由民権運動を経て近代日本が形成されていく過程を、アジアにおける国際環境の変化や国際関係の推移に着目して考察する					

評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み
教師からの メッセージ	先人の生き方・文化を学び、自国に対する自尊心やグローバルな視点を身につけよう。

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 コース
科目名	日本史B						
教科書及び 使用教材等	教科書	山川出版	「詳説日本史B」			履修形態	必修
	資料集	浜島書店	「新詳 日本史」			授業形態	一斉授業
ワーク	浜島書店	「ゼミナール日本史」					
科目の目標 ※目標資格等	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	「近世の日本と世界」では、織豊政権から江戸時代における社会や文化の特色について、封建的支配体制が作り上げられる幕藩体制の確立、町人文化が生み出された幕藩体制の展開、列強の接近に伴う幕藩体制の動揺の3つの構成から世界史的な流れと関連させて考察する。					
	後期	「近代日本の形成と世界」では、ペリー来航以降の近代の社会や文化の特色について、開国・明治維新・自由民権運動を経て近代日本が形成されていく過程を、アジアにおける国際環境の変化や国際関係の推移に着目して考察する					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み						
教師からの メッセージ	先人の生き方・文化を学び、自国に対する自尊心やグローバルな視点を身につけよう。						

教科名	公民	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	現代社会						
教科書及び 使用教材等	教科書	『現代社会』 東京書籍				履修形態	必修
	ワーク	『要点マスター 現代社会 演習ノート』 東京書籍				授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な倫理、政治、経済の知識や理解力を身に付けさせるとともに、センター試験に対応できる学力の養成を図ります。						

学習計画	前期	青年期と自己形成の課題 日本国憲法と民主政治
	後期	現代の経済と国民福祉 国際社会と人類の課題
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み	
教師からの メッセージ	現代社会の課題と解決方法を、先人の生き方や自己のアイデンティティから考えよう。	

教科名	公民	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 選 抜 課 程 コ ー ス	
科目名	現代社会							
教科書及び 使用教材等	教科書 新現代社会 (第一学習社)					履修形態	必修	
						授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	①現代社会の諸課題について、それぞれの内容・背景・問題点について理解し、主体的に考察し、判断する力を養う。 ②青年期の身体的・社会的・心理的な特質を学習することを通して、現在の自分の姿を確認するとともに、将来あるべき自分の姿、今後の生き方について考察する。 ③現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、公正な判断力や健全な批判力を養う。そして、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。							
学習計画	前期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義						
	後期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理						
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物							
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。							

教科名	公民	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課 程
科目名	政治経済						

教科書及び 使用教材等		教科書：『高等学校 政治・経済』第一学習社 ワーク：『政治・経済ノート』第一学習社 資料集：『最新図説 政経』浜島書店	履修形態	選択
			授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等		基本的な政治経済の知識や理解力を身に付けさせるとともに、センター試験に対応できる学力の養成を図ります。		
学習計画	前期	/		
	後期			
評価の観点 評価の方法		後期成績は、後期中間考査素点と後期期末考査素点の平均点となります。学年末成績では、後期成績と学年末考査素点の平均点を評点とし、評定を出します。		
教師からの メッセージ		模試や入試を前提に話をすると、「政治・経済」は教科書内容を覚えただけでは、なかなか高得点が取れない科目になります。より深く楽しく学ぶためにも、毎日、新聞を読み、テレビニュースを見ることをお勧めします。よろしく。		

教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	倫理						
教科書及び 使用教材等		「高等学校 新倫理 最新版」(清水書院)				履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等		・人間としての在り方生き方について、ギリシャ思想、キリスト教、仏教、儒教などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。 ・日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。					
学習計画	前期	/					
	後期						
評価の観点 評価の方法		定期考査 提出物 授業態度					

教師からのメッセージ	先人の生き方を学び、自分の将来像を考えていこう。
------------	--------------------------

教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 IIコース
科目名	政治経済						
教科書及び 使用教材等	教科書 最新政治・経済(実教出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。						
学習計画	前期	第1章 現代の政治	第1節 民主政治の基本原理 第2節 日本国憲法の基本原理 第3節 日本の政治機構 第4節 現代政治の特質と課題 第5節 現代の国際政治				
	後期	第2章 現代の経済	第1節 経済社会の変容 第2節 現代経済のしくみ 第3節 日本経済の発展と課題 第4節 労働と社会保障 第5節 国民経済と国際経済				
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からのメッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	政治経済						
教科書及び 使用教材等	教科書 政治・経済(第一学習社) 最新図説政経 政治・経済ノート					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。 以上の三点に加え、学習の成果を発揮して大学入試センター試験において7割以上の点数をとることを目標にします。						
学習	前期	第1編 現代の政治 第2編 現代の経済	第2章 ③～⑤ 第1章				

計画	後期	第2編 現代の経済 第2章 9月以降は、大学入試センター試験の過去問、全国模試過去問、センター試験予想問題を使って、数多く演習に取り組んでいきます。
評価の観点 評価の方法		現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。
教師からの メッセージ		来年、笑顔の春を迎えられるよう一緒にがんばりましょう！

教科名	公民	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 I コース
科目名	倫理						
教科書及び 使用教材等	「高等学校 新倫理 最新版」(清水書院)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な倫理の知識や理解力を身に付けさせるとともに、センター試験に対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	第3編 近現代の西洋思想					
	後期	第4編 日本の思想・宗教					
評価の観点 評価の方法	4回の定期考査の素点平均を基に、学年末には評定を算出します。						
教師からの メッセージ	地歴・公民科の科目の中で倫理が一番面白いと感じています。この面白さを伝えたいです。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 II コース
科目名	倫理						
教科書及び 使用教材等	「高等学校 新倫理 最新版」(清水書院)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業

科目の目標 ※目標資格等		・人間としての在り方生き方について、ギリシャ思想、キリスト教、仏教、儒教などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。 ・日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。
学習計画	前期	第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学 第2章 人生における宗教 第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術の自覚
	後期	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題 第2章 現代に生きる人間の倫理 第4編 国際社会に生きる日本人 第1章 日本の風土と外来思想の受容
評価の観点 評価の方法		定期考査 提出物 授業態度
教師からのメッセージ		先人の生き方を学び、自分の将来像を考えていこう。

教科名	履修学年	単位数	履修課程 (コース)	課 程 コース
科目名				
教科書及び 使用教材等			履修形態	必修
			授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等				
学習計画	前期			
	後期			
評価の観点 評価の方法				
教師からの メッセージ				

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	世界史B						
教科書及び 使用教材等	教科書 山川出版社「詳説世界史B」 副教材 第一学習社「グローバルワイド最新世界史図表」 山川出版社「世界史B用語集」「詳説世界史学習ノート」					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①世界の歴史への興味・関心を高め、主体的に探究していく態度を身につけます。 ②世界の歴史の大きな枠組みと流れを、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解します。 ③世界史についての資料を適切に選択し、資料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につけます。 ④現代社会が直面する諸課題について、歴史的観点から考察し、主体的な追究を通して認識を深めます。						
学習計画	前期	○近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ○欧米における近代国民国家の発展 ○アジア諸地域の動揺					
	後期	○帝国主義とアジアの民族運動 ○二つの世界大戦 ○冷戦と第三世界の独立					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物（学習ノート）の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の（質問などに対する）発言回数						
教師からの メッセージ	近現代の世界史を学ぶことは現在の国際社会・世界経済・日本の置かれている状況などを理解する上でとても重要です。歴史の学習を「暗記教科」と決めつけず、過去からの大きな流れをとらえ、未来を考えるための学習だと考えてください。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	世界史A						普通 コース
教科書及び 使用教材等	教科書 東京書籍 「世界史A」 副教材 東京書籍 「世界史Aワークノート」					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①近現代史を中心とする世界の歴史について理解すること。 ②諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、現代の諸課題を歴史的観点から考察すること。 ③歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うこと。						
学習計画	前期	第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ 15世紀なかばから19世紀後半までの世界の歴史について学習します。ヨーロッパ勢力の進出によって、さまざまな世界が次第に一体化していき、一つの世界史が形成されていく様相をみていきます。					
	後期	第3部 現代の世界と日本 19世紀後半から今日にいたる世界の歴史について学習します。					

評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業態度
教師からの メッセージ	日本だけでなく世界の国々に興味を持ち、 将来、海外で活躍する生徒が出てきてほしい。

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	地理B						
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	<p>地理Bは、地理的なものの見方や考え方を学び、国際人として生きていく力を養う科目です。学習にあたっての到達目標は次の通りです。</p> <p>①現代世界の地理的認識を深める。</p> <p>②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。</p> <p>③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。</p>						
学習計画	前期	<p>第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能</p> <p>第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察</p> <p>1章 自然環境</p>					
	後期	<p>第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察</p> <p>2章 資源と産業</p> <p>3章 人口、村落・都市</p> <p>4章 生活文化、民族・宗教</p>					
評価の観点 評価の方法	<p>意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度、レポートや白地図ノートなど提出物の内容を重視します。</p>						
教師からの メッセージ	<p>まだ見ぬ未知の世界への関心という人間の根源的興味を満たしてくれるのが、地理学習であり、地理のおもしろさです。広い視野を持って学習していきましょう。</p>						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	地理B						
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	<p>地理Bは、地理的なものの見方や考え方を学び、国際人として生きていく力を養う科目です。学習にあたっての到達目標は次の通りです。</p> <p>①現代世界の地理的認識を深める。</p> <p>②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。</p> <p>③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。</p>						

学習計画	前期	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境
	後期	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 3章 人口、村落・都市 4章 生活文化、民族・宗教
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度、レポートや白地図ノートなど提出物の内容を重視します。	
教師からのメッセージ	まだ見ぬ未知の世界への関心という人間の根源的興味を満たしてくれるのが、地理学習であり、地理のおもしろさです。広い視野を持って学習していきましょう。	

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 I コース
科目名	地理B					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	教科書	帝国書院	「新詳地理B」			授業形態	一斉授業
	資料集	帝国書院	「COMPLETE」				
ワーク	帝国書院	「新詳地理Bノート」					
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	地理情報と地図 「現代世界の地図」「地図の種類とその利用」 自然環境 「世界の地形」「世界の気候」「日本の自然の特徴」「環境問題」					
	後期	資源と産業 「産業の発達と変化」「世界の農林水産業」「食料問題」「世界の工業」					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業態度						
教師からの メッセージ	現代の世界を地理から学び教養を深めていこう。						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 III コース
科目名	日本史A					履修形態	必修
教科書及び	教科書	第一学習社『高等学校日本史A』					

使用教材等	副教材 第一学習社『日本史Aノート』	授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①近現代の歴史的事象と現在との結びつきを調べ考える活動を通して、現代の社会やその諸問題が歴史的に形成されたものであるということ、歴史を学ぶ意義に気付きます。 ②近代社会が成立し発展する過程を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察することを通して、ものごとを実証的な考察によってとらえる歴史的思考力を身に付けます。		
学習計画	前期	○近代国家の形成と国際関係の推移 (明治維新、近代国家の確立、対外関係の変化、政党政治の展開)	
	後期	○近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 (近代産業の発展と社会運動の展開、第一次世界大戦と日本、第二次世界大戦と日本) ○現代の日本と世界(日本の再出発、独立後の政治と対外関係)	
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物(ワークノート)の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の(質問などに対する)回答回数		
教師からのメッセージ	近現代の日本史を学ぶことは現在の日本の社会・経済・そして日本の置かれている状況などを理解する上でとても重要です。歴史の学習を「暗記教科」と決めつけず、過去からの大きな流れをとらえ、未来を考えるための学習だと考えてください。		

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	地理B						
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理B(帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理 統計要覧 センター地理B単元別問題集					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。 以上の三点に加え、地理的思考力を発揮して大学入試センター試験において7割以上の点数をとることを目標にします。						
学習計画	前期	現代世界の地誌的考察(アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア) 地誌学習終了後は、問題集を使って演習の授業に入ります。					
	後期	大学入試センターの過去問、全国模試の過去問、センター試験予想問題を使って数多く演習していきます。60分の問題を50分以内で解きます。マーク式に慣れ、解答スピードを速める練習でもあります。					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からのメッセージ	来年、笑顔の春を迎えられるよう一緒にがんばりましょう！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	地理B						
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理 統計要覧 センター地理B 単元別問題集					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。 以上の三点に加え、地理的思考力を発揮して大学入試センター試験において7割以上の点数をとることを目標にします。						
学習計画	前期	現代世界の地誌的考察 (アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア) 地誌学習終了後は、問題集を使って演習の授業に入ります。					
	後期	大学入試センターの過去問、全国模試の過去問、センター試験予想問題を使って数多く演習していきます。60分の問題を50分以内で解きます。マーク式に慣れ、解答スピードを速める練習でもあります。					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	来年、笑顔の春を迎えられるよう一緒にがんばりましょう！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 1 コース
科目名	地理B						
教科書及び 使用教材等	教科書 帝国書院 「新詳地理B」 資料集 帝国書院 「COMPLETE」 ワーク 帝国書院 「新詳地理Bノート」					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	地球的な課題 「人口・食料問題」 「都市・居住問題」 「環境・エネルギー問題」					
	後期	グローバル化する現代世界 「近隣諸国の研究」 「地図でとらえる現代世界」					

評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業態度
教師からの メッセージ	現代の世界を地理から学び教養を深めていこう。

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 III コース
科目名	地理 A						
教科書及び 使用教材等	教科書 第一学習社 『高等学校 地理 A』 副教材 帝国書院 『新詳高等地図』 第一学習社 『地理 A ノート』					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。						
学習計画	前期	1章 地球儀で地図をとらえる現代世界					
	後期	2章 世界の人々の生活を取りまく地理的環境 3章 世界の諸地域の生活・文化と環境					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物（学習ノート）の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の（質問などに対する）発言回数						
教師からの メッセージ	地図をみるのは好きですか？好きな人はその時点で地理向きな人かもしれません。世界地図を見ているとわくわくしませんか？そうでない人でも地図をみて世界とはどうなっているか興味をもてる授業にしたいと思います。一番大事なことは「興味がわいてくること」です。						

教科名	公民	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	現代社会						
教科書及び 使用教材等	教科書：『現代社会』 東京書籍 ワーク：『要点マスター 現代社会 演習ノート』 東京書籍					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な倫理、政治、経済の知識や理解力を身に付けさせるとともに、センター試験に対応できる学力の養成を図ります。						

学習計画	前期	青年期と自己形成の課題 日本国憲法と民主政治
	後期	現代の経済と国民福祉 国際社会と人類の課題
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み	
教師からの メッセージ	現代社会の課題と解決方法を、先人の生き方や自己のアイデンティティから考えよう。	

教科名	公民	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 普通 課程 コース	
科目名	現代社会							
教科書及び 使用教材等	教科書 新現代社会 (第一学習社)					履修形態	必修	
						授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	①現代社会の諸課題について、それぞれの内容・背景・問題点について理解し、主体的に考察し、判断する力を養う。 ②青年期の身体的・社会的・心理的な特質を学習することを通して、現在の自分の姿を確認するとともに、将来あるべき自分の姿、今後の生き方について考察する。 ③現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、公正な判断力や健全な批判力を養う。そして、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。							
学習計画	前期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義						
	後期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理						
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物							
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。							

教科名	公民	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	倫理						

教科書及び 使用教材等		教科書：『高等学校 新倫理』清水書院 資料集：『テオリア最新倫理資料集』第一学習社 ワーク：『倫理 演習ノート』数研出版	履修形態	選択
			授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等		基本的な倫理の知識や理解力を身に付けさせるとともに、センター試験に対応できる学力の養成を図ります。		
学習計画	前期	第2編 源流思想・・・「儒家思想」「道家思想」 第3編 近現代の西洋思想 第4編 日本の思想・宗教		
	後期			
評価の観点 評価の方法		まず、前期中間考査素点と前期期末考査素点を平均し2年次前期の倫理点数を算出します。次に、1年次学年末の倫理点数と2年次前期の倫理点数の平均点を算出。これが、倫理の総合成績となります。前期成績票には、倫理の評価も記載されます。		
教師からの メッセージ		地歴・公民科の科目の中で倫理が一番面白いなど感じています。この面白さを伝えたいです。		

教科名	公民	履修学年	2	単位数	1	履修課程 (コース)	普通 コース
科目名	政治経済						
教科書及び 使用教材等		教科書 政治・経済(第一学習社) 最新図説政経 政治・経済ノート			履修形態	選択	
					授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等		①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。					
学習計画	前期						
	後期	第1編 現代の政治 第1章～第2章					
評価の観点 評価の方法		定期考査 提出物 授業態度					

教師からのメッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。
------------	--

教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	政治経済					III	コース
教科書及び 使用教材等	教科書 最新政治・経済(実教出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。						
学習計画	前期	第1章 現代の政治 1章現代国家と民主政治 2章日本国憲法と基本的人権 3章日本の政治制度と政治参加					
	後期	4章 現代の国際政治 5章日本の平和主義と国際平和 第2章 現代の経済 1章経済の変容 2章現代経済のしくみ 3章現代の日本経済と福祉の向上					
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からのメッセージ	現在の世の中の仕組みをニュース、私生活を通して一緒に理解し、頑張りましょう。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	特別進学課程
科目名	政治経済						
教科書及び 使用教材等	教科書 政治・経済(第一学習社) 最新図説政経 政治・経済ノート					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。 以上の三点に加え、学習の成果を発揮して大学入試センター試験において7割以上の点数をとることを目標にします。						
学習	前期	第1編 現代の政治 第1章～第2章 第2編 現代の経済 第1章 ①経済社会の発展～⑧日本経済の歩み					

計画 後期	第2編 現代の経済 第1章◎中小企業の地位と役割～第2章 10月以降は、大学入試センター試験の過去問、全国模試過去問、センター試験予想問題を使って、数多く演習に取り組んでいきます。
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。
教師からの メッセージ	来年、笑顔の春を迎えられるよう一緒にがんばりましょう！

教科名	公民	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 Iコース
科目名	政治経済						
教科書及び 使用教材等	教科書 政治・経済(第一学習社)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。						
学習計画	前期	第1章 現代の政治 1章現代国家と民主政治 2章日本国憲法と基本的人権 3章日本の政治制度と政治参加					
	後期	4章 現代の国際政治 5章日本の平和主義と国際平和 第2章 現代の経済 1章経済の変容 2章現代経済のしくみ 3章現代の日本経済と福祉の向上					
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	現在の世の中の仕組みをニュース、私生活を通して一緒に理解し、頑張りましょう。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 IIIコース
科目名	倫理						
教科書及び 使用教材等	「高等学校 新倫理 最新版」(清水書院)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業

科目の目標 ※目標資格等		・人間としての在り方生き方について、ギリシャ思想、キリスト教、仏教、儒教などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。 ・日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。
学習計画	前期	第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学 第2章 人生における宗教 第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術の自覚
	後期	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題 第2章 現代に生きる人間の倫理 第4編 国際社会に生きる日本人 第1章 日本の風土と外来思想の受容
評価の観点 評価の方法		定期考査 提出物 授業態度
教師からのメッセージ		先人の生き方を学び、自分の将来像を考えていこう。

教科名	履修学年	単位数	履修課程 (コース)	課程 コース
科目名				
教科書及び 使用教材等			履修形態	必修
			授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等				
学習計画	前期			
	後期			
評価の観点 評価の方法				
教師からの メッセージ				